

平成29年度 支え合うきよせ委員会 B（支え合いバックアップ）部会
第1回 会議録（案）

日時	平成29年5月16日（火）14:20～	場所	健康センター 第二会議室
出席者	柳原部会長、内野副部会長、星野委員、羽田委員、村田委員、近藤委員 事務局：田中係長、森田（市包括）、上垣		

1 部会長・副部会長互選

- (1) 星野委員からの推薦で、柳原委員を部会長に、内野委員を副部会長に選任。

2 議題

- (1) 本日の部会の進め方について

部会委員より、ポストイットを使った個人ワークをせずに直接討議に入りたいと意見があり、進め方を変更。

- (2) 部会検討事項について

事務局から「資料5 支え合うきよせ委員会の部会構成」を用い説明。

B（支え合いバックアップ）部会について、これまでに抽出された課題に基づき、項目オ～ケを中心に対応することを確認。この内、今年度重点的に活動する内容について話し合いを持った。

ア 広報について

以下の意見を踏まえ、生活支援コーディネーターの活動や委員会の活動について、市報を用いて大きく広報する。市民グループの広報については今後の課題とする。

- ・ 市民活動を行っているグループとしては、自団体の活動広報に課題を感じている。市報には3か月に1回の制限。チラシ作りや公共施設等への案内の手間もあり、手軽に市民に後方できる媒体が欲しい。
- ・ 支え合いの地域づくりや、支え合うきよせ委員会の活動について広報が不十分である。

イ 支え合い活動の担い手養成、勉強会について

以下の意見を踏まえ、7月、8月に各1回程度、昨年フォーラムに参加した人を中心に声をかけ、この1年の委員会活動の報告を理由とした勉強会を開催する。運営は生活支援コーディネーターと委員数名で行う。日程は、活動を担う人は平日活動できる方との認識から平日の日中、1.5～2時間以内とする。詳細は委員に同報メールを送り調整する。

- ・ 部会委員が動いて作り出すのではなく、市民が動く仕掛けが必要。
- ・ 昨年フォーラムに参加した人たちを大切に、学習会等を実施して活動に巻き込む。
- ・ 地域の中で支え合いの機運が高まった際には、このような勉強会に参加した人たちが中核を担う存在になってくることを想定。
- ・ 他市の活動は、他市の活動であって、見学してもそれだけで終わってしまう。

まずは清瀬の中で考え、行き詰ったところで見にいった方が効果的。

ウ その他

- ・ 活動場所・資金に関する情報収集とメニュー化について、勉強会を通して、参加者からの意見を勘案しながら検討する。

(3) その他

部会長が所用により退席となったため、本会には事務局より報告することとした。